

かなやまっ子

笑顔あふれる金山小学校

夏休みも成長を!

子どもたちにとって待ちに待った夏休みに入ります。夏休みは、普段と時間の使い方が変わります。この休みを、どのように過ごすかで、これから変わってきます。

そこで、夏休みに入るにあたって、本日の終業式の中で、子どもたちに、「夏休みに成長しよう!」という話をしました。その内容は…

- 夏休みにしかできない体験をいっぱいしましょう。たくましく成長できます。
- 毎日、何時から何時までと決めて、勉強をしたり、本を読んだりしましょう。習慣づけていける人は、きっと成長できます。
- テレビを見たり、ゲームなどをしたりする人は、家の人と相談して、時間を決めておきましょう。ゲームのやり過ぎは、生活のリズムが崩れるだけでなく、運動不足にもなり、成長できません。
- 交通安全。とにかく飛び出さない。「とまる」「たしかめる」という行動を必ず行いましょう。事故に合えば、成長できません。



このほか、夏休みには、自宅近辺、そして、行動範囲の広がりも含めて、道路の危険箇所はどこなのか、防犯対策として何が大切か、災害にあったときの避難の仕方はどうなのか等々、子どもたち自身がしっかりと認識できるよう、ご家庭でもお話いただければと思います。

成長した元気な笑顔で、2学期に会えることを楽しみにしています!



↑オレンジ山ちゃん

今年の金山小キャラクターが決まりました!

「オレンジ山ちゃん」です!

今年度、児童会では、金山小のキャラクターを作り、ポスターやチラシなどに掲載して、子どもたちにより身近に感じてもらうという取り組みを始めました。

そのキャラクター原画を子どもたちから募集し、児童会で検討した結果、今年度のキャラクターが決まりました!それが、右の「オレンジ山ちゃん」です。今後、児童会のポスターをはじめ、学校だよりやホームページにも活用していきたいと思っております!

なお、原画の作者は、5年生の子ですが、名前については、本人の希望で、「ひみつ」にします(^_^)

今後の主な行事予定

7月21日(土) ~8月31日(金)	夏休み ※9月1日・2日は、土日です。	閉校日の間に、何かありましたら、担任か熊野市教育委員会学校教育課(代)89-4111)までご連絡ください。
23日(月)~27日(金) 30日(月)・31日(火)	プール開放(13:30~15:00)	
31日(火) ~8月11日(土)	インターハイ、ソフトボール練習会場 ※練習場として、本校運動場を使います。	
8月 3日(金)	登校日	
13日(月)~17日(金)	学校閉校日	
17日(金)	熊野大花火大会 ※運動場が駐車場となります。	
9月 3日(月)	2学期始業式	
4日(火)	給食開始	
10月 6日(土)	運動会	

1学期を振り返って…

今、社会がめまぐるしく変化しています。小学生のなりたい職業に「ユーチューバー」なるものが、急浮上してきています。今の小学生が生まれたときに、職業として「ユーチューバー」なるものはありませんでした。AI(人工知能)が、ものすごい勢いで、進歩しています。これまで、人間にしか出来なかったことが、ロボットでも出来るようになってきました。

このような変化に対応するための新たな取組も、今、学校に求められています。

今年度、本校でも、いくつかのことが新たに始まりました。

特別の教科 道徳、外国語移行措置、プログラミング教育、「言葉の時間」、囲碁教室、等々。

これらについて、振り返ってみます。

特別の教科 道徳は、今年度から教科書を使って、計画的に授業を行っています。通信簿にも、今年度から文章での評価を記述しています。道徳では、1つの考え方を教え込むものではなく、「考え、議論すること」を大切に授業を進めています。したがって評価も、他の教科と違い、「〇〇について考えることができた。」「気付くことができた。」など、多面的な見方・考え方ができるかどうかを評価しています。

外国語移行措置では、2020年度から本格的に始まる外国語(5・6年)に向け、今年度、三重大大学東紀州サテライトと連携し、6年生で授業研究を進めています。2年後の本格実施では、各担任が外国語の授業を行うこととなります。その指導のための教材や指導方法について、試行錯誤しながら進めております。6年生の子どもたちも、かなり高度な内容を一所懸命がんばっています。

大野三重大学准教授による外国語授業



プログラミング教育も、三重大大学東紀州サテライトと連携し、1学期は6年生を中心に取り組みました。2学期以降は、5年生でも取り組んでいきたいと考えています。プログラミング教育については、いわゆる「プログラマー」を早期から育成するというものではありません。物事を考えるときに、より効率的に考えることが出来る「プログラミング的思考力」(よりよく実行するために、物事を順序だてて考える力)を育てるために、パソコン等でプログラミングを経験するのが、プログラミング教育です。本校でも、この授業を通して、順序だてて作らないとうまく作れないことを、試行錯誤し、失敗も経験しながら、進めています。しかし、プログラミングで作る作品の子どもたちの柔軟な発想には、いつも驚かされますし、子どもたちが、とても楽しそうに、そして夢中になって取り組む姿をみていると、新しい時代の到来も感じます。

須賀野三重大学教授によるプログラミング教室



「言葉の時間」は、今年度から外国語や外国語活動により、3年生以上の週の授業時間数を増やさなければいけません。そのために、短時間の授業を行い、それらを合計して時間数の確保をするために、この時間を設定しています。全ての学年、週に2回、ひらがなや新出漢字などの言葉の学習に取り組んでいます。そのまま、1時間目に入突入することもあり、子どもたちにとってどのような影響があるか等々を検討しながら、2学期以降も進めていき、来年度以降の方向性をさぐります。

囲碁教室は、熊野市の独自の事業として市内いくつかの小学校で始まっています。碁石として加工される「那智黒石」が熊野市の特産品であることの理解を深めるとともに、碁を通して集中力等を高めることを目的に実施しています。本校では、3・4年の授業に、女流プロ棋士の羽根しげ子先生に、遠路お越しいただき、碁の魅力を存分に伝えていただきました。子どもたちも、吸収が早く、集中して碁を打つ姿が、日常でも見られるようになっています。



羽根しげ子による碁教室

やらなければいけないことが、どんどん増えていきますが、笑顔を忘れず、みんなが安心して過ごせる学校となるよう、2学期以降もご支援のほどよろしくお願い致します!